

岩手県感染症週報

平成15年第13週（3月24日～3月30日）

岩手県結核 感染症情報センター

第13週の概要

1 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

2 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

3 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症（全数把握対象疾患）

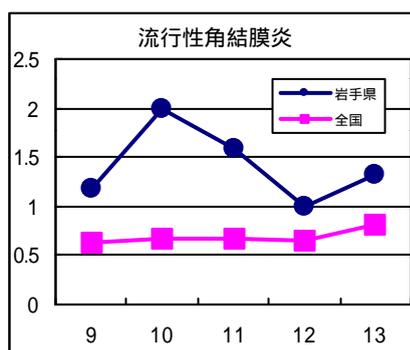
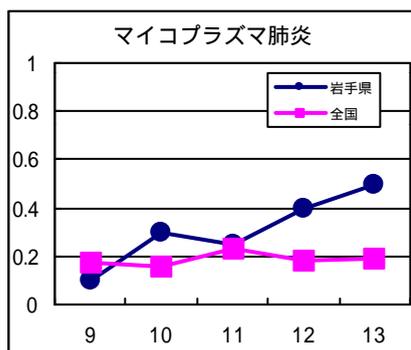
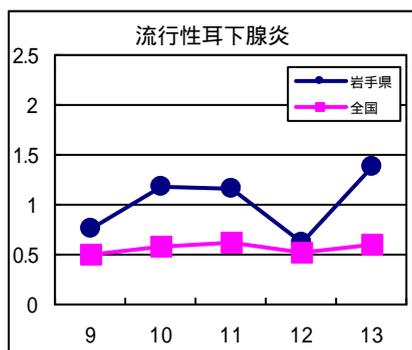
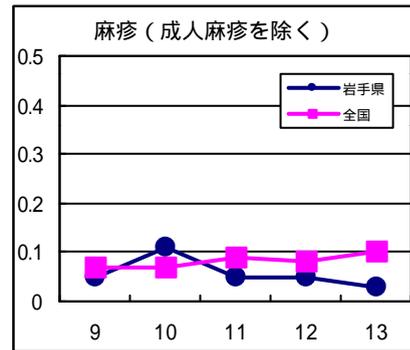
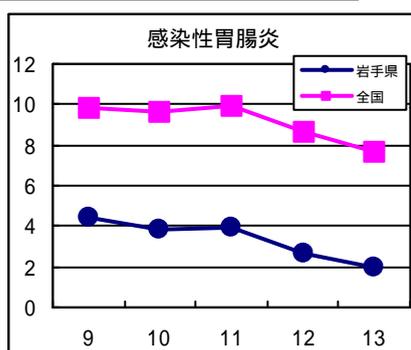
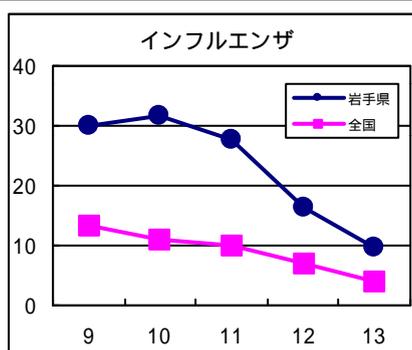
- ・盛岡地区から後天性免疫不全症候群の報告が1例ありました。患者は50代の男性で国外での感染が疑われています。

4 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・インフルエンザはここ3週間で患者数はほぼ1/3となりました。この週の県内の定点あたり患者数は、前週の16.4から9.5となりました。しかし、流行は完全に終息したわけではなく、これから小・中学校の新学期の開始時期を控え、感染の予防のため、うがい・手洗いなどの励行が大事です。
- ・流行性角結膜炎は久慈地区で流行が続いていましたが、この週は定点あたり患者数が2.0と減少しました。一方、盛岡地区では患者数が増加しているのに注意が必要です。
- ・一関地区で患者の発生が続いている麻疹は、この週も同地区で患者の発生がありました。感染の予防のため、満一歳以上の乳幼児は早めに予防接種を受けることが大切です。
- ・流行性耳下腺炎は、昨年末頃から小さな増減を繰り返しながら減少してきましたが、この週には県内ほとんどの地区で患者数が増加しました。
- ・マイコプラズマ肺炎は先週に引き続き増加しています。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向
		9	10	11	12	13	
インフルエンザ	岩手県	30.05	31.55	27.63	16.42	9.53	
	全国	13.26	11.14	9.84	7.1	4.14	
咽頭結膜熱	岩手県	0	0	0	0	0	
	全国	0.06	0.08	0.09	0.07	0.08	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.5	0.84	0.61	0.71	0.68	
	全国	1.28	1.32	1.4	1.25	1.04	
感染性胃腸炎	岩手県	4.47	3.87	3.95	2.66	2	
	全国	9.81	9.67	9.91	8.61	7.7	
水痘	岩手県	1.03	1	1.29	1.18	1	
	全国	1.79	1.85	1.83	1.73	1.86	
手足口病	岩手県	0.05	0.03	0	0	0	
	全国	0.1	0.11	0.15	0.11	0.12	
伝染性紅斑	岩手県	0.66	0.39	0.61	0.39	0.37	
	全国	0.2	0.19	0.19	0.17	0.2	
突発性発疹	岩手県	0.58	0.34	0.58	0.45	0.5	
	全国	0.64	0.63	0.68	0.62	0.69	
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	
	全国	0	0.01	0.01	0.01	0.01	
風疹	岩手県	0.03	0	0.05	0	0.05	
	全国	0.02	0.02	0.03	0.02	0.03	
ヘルパンギーナ	岩手県	0	0.03	0	0	0.03	
	全国	0.02	0.03	0.04	0.04	0.05	
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0.05	0.11	0.05	0.05	0.03	
	全国	0.07	0.07	0.09	0.08	0.1	
流行性耳下腺炎	岩手県	0.76	1.18	1.16	0.61	1.39	
	全国	0.51	0.58	0.62	0.52	0.6	
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	
	全国	0.02	0.02	0.03	0.02	0.02	
流行性角結膜炎	岩手県	1.17	2	1.58	1	1.33	
	全国	0.62	0.67	0.67	0.65	0.82	
急性脳炎（日本脳炎を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	
	全国	0.01	0.01	0	0	0	
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	
	全国	0.01	0.01	0	0	0.02	
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	
	全国	0.01	0.02	0.02	0.01	0.02	
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.1	0.3	0.25	0.4	0.5	
	全国	0.17	0.16	0.23	0.18	0.19	
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	
	全国	0.01	0	0.01	0	0	
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	
	全国	0.02	0.02	0.03	0.02	0.03	

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	岩手県					全国		
		9	10	11	12	13	累計	13	累計
一類感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	1	8
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	6	8	127
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	4	20
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	2	7
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	6	105
四類感染症	アメーバ赤痢	1	0	0	0	0	1	3	119
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	4
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	1	1	10
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	0	1	0	0	3	10	216
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	2
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	0	27
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	22
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	1	1	10	196
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	13
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	7
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	1	30
	デング熱	0	0	0	0	0	0	1	7
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	0	6	107
	破傷風	0	0	0	0	0	0	3	15
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	16
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	1	19
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	0	34	
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

「ウエストナイル熱」が平成14年11月から新たに四類感染症に指定されました。

今注目の感染症

重症急性呼吸器症候群（SARS）

[概要]

重症急性呼吸器症候群（SARS）について、世界保健機関（WHO）は、4月3日までに、世界18カ国・地域でこれまでに2270人が感染し、79人が死亡したと発表しました。

これまでにWHOに報告された各国のSARS患者数と死亡者数の内訳は以下のとおりです。

：死亡を含む患者数（死亡者数）

香港：734（17）	中国：1190（46）	シンガポール：98（4）
ベトナム：59（4）	米国：85（0）	カナダ：62（6）
台湾：14（0）	ドイツ：5（0）	タイ：7（2）
英国：3（0）	イタリア：3（0）	スイス：2（0）
アイルランド：1（0）	フランス：3（0）	オーストラリア：1（0）
ベルギー：1（0）	ルーマニア：1（0）	ブラジル：1（0）

WHOが発表したSARSの伝播確認地域は以下のとおりです。（4月1日現在）

カナダ・トロント	中国・広東省	中国・山西省
香港	台湾	シンガポール
ベトナム・ハノイ		

[日本の状況]

4月2日までに14例の疑い例と3例の可能性例の報告がありました。疑い例のうち7例はSARSを否定され、7例はSARSである可能性は低いとされています。また、可能性例のうち1例はSARSを否定され、1例はSARSである可能性は低いとされ、1例は経過観察中で容態は安定しています。

[原因]

WHOは「SARSの主要な原因はコロナウイルスである」と発表しました。また、カナダなどの研究チームがメタニューモウイルスを複数の患者から検出していますが、WHOは、メタニューモウイルスについても「コロナウイルスと同時に感染して重症化に関係している可能性がある」として引き続き調査を継続しています。

[症例定義]（厚生労働省通知による）

疑い例

2003年2月1日以降に以下の症状を示して受診した患者で

- ・38度以上の急な発熱

かつ

- ・咳、息切れ、呼吸困難感などの呼吸器症状

かつ

- ・以下のうち1つ以上

発症前10日以内にSARSが報告されている地域へ旅行した者

発症前10日以内にSARS患者の「看護・介護」または「同居」または「近距離で接触」または「患者の気道分泌物や体液に触れた」者

可能性例

疑い例であって

- ・胸部レントゲン写真で肺炎、または呼吸窮迫症候群の所見を示す者

または

- ・原因不明の呼吸器疾患で死亡し、剖検によりの呼吸窮迫症候群の病理学的所見を示した者

備考

SARSは、発熱、呼吸器症状に加え、頭痛、筋硬直、食欲不振、倦怠感、意識混濁、発疹、下痢等の症状を伴います。

病原体検出情報

- ・インフルエンザの患者の咽頭拭い液からA香港型インフルエンザウイルスを6例、B型インフルエンザウイルスを4例検出しました。
- ・感染性胃腸炎の患者の便からノーウォークウイルス（遺伝子型II）を1例、サッポロウイルスを2例検出しました。

集団感染情報

この週には、集団感染情報はありません。

医療機関からの情報

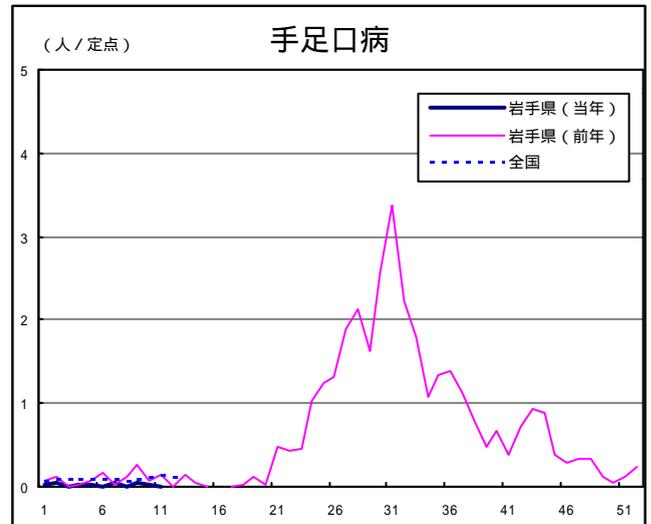
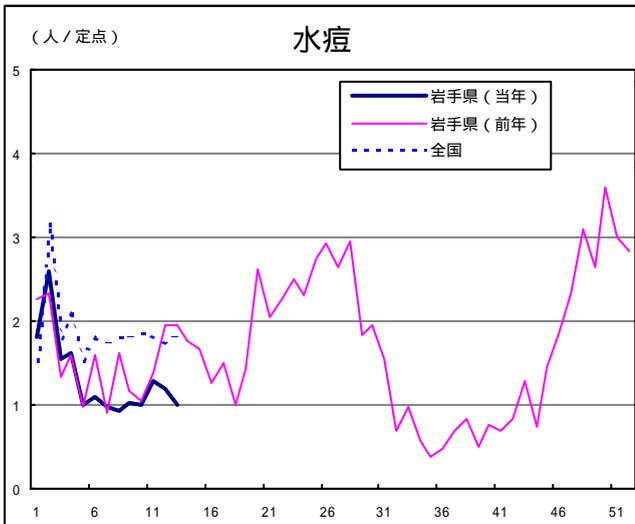
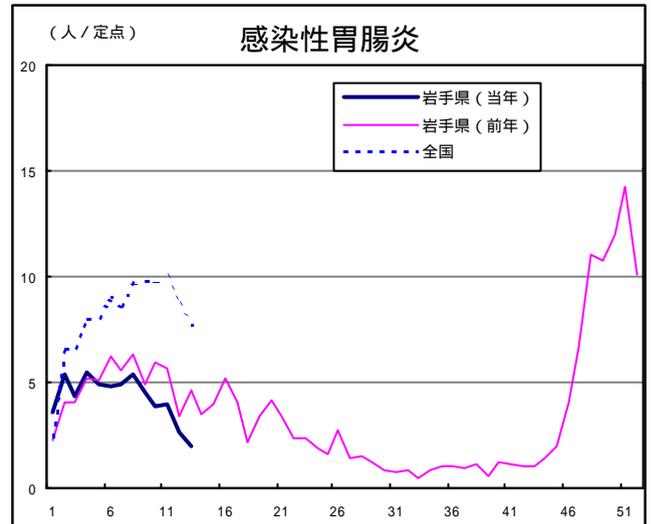
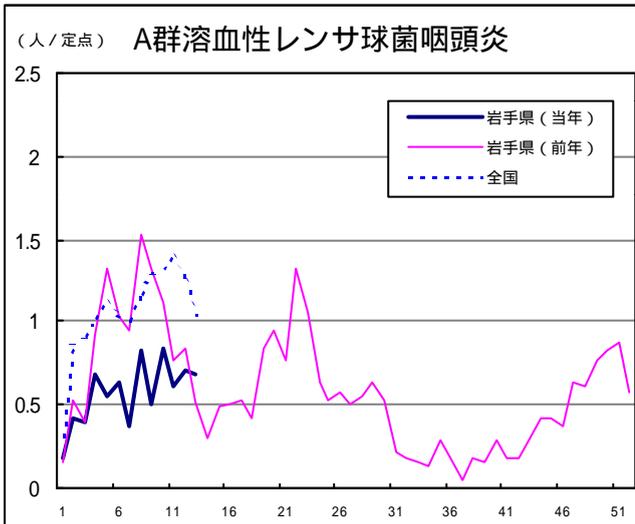
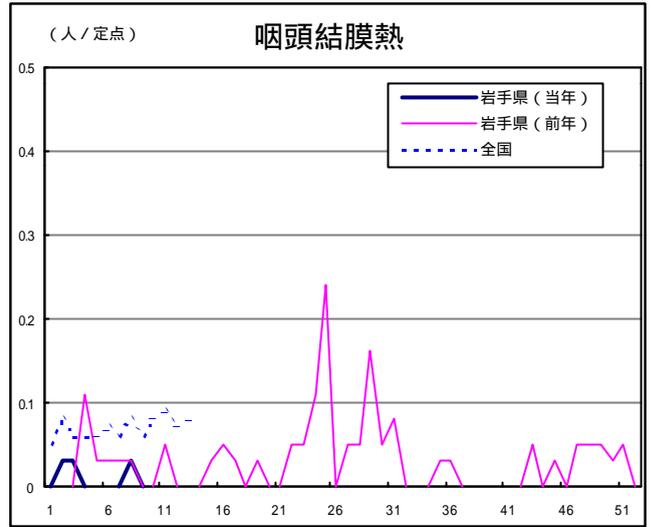
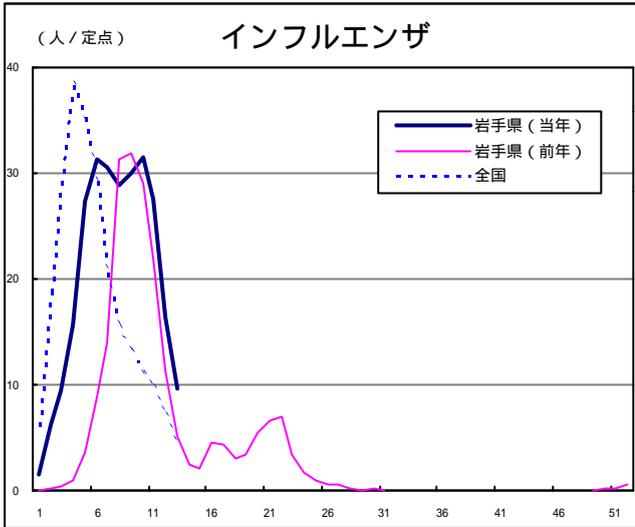
医療機関からの情報はここに掲載します。

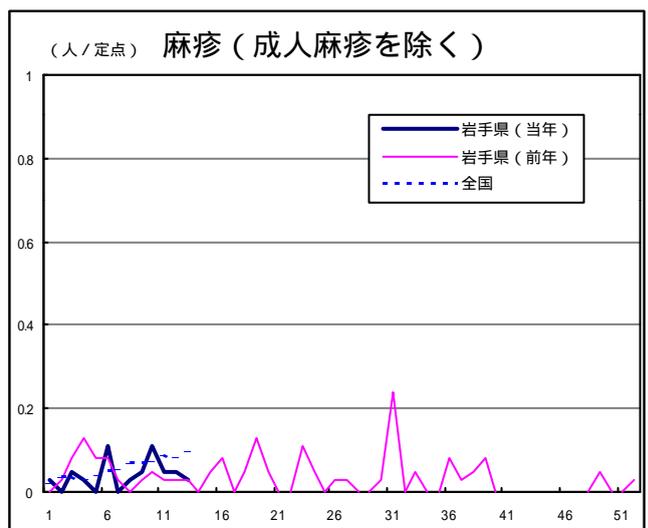
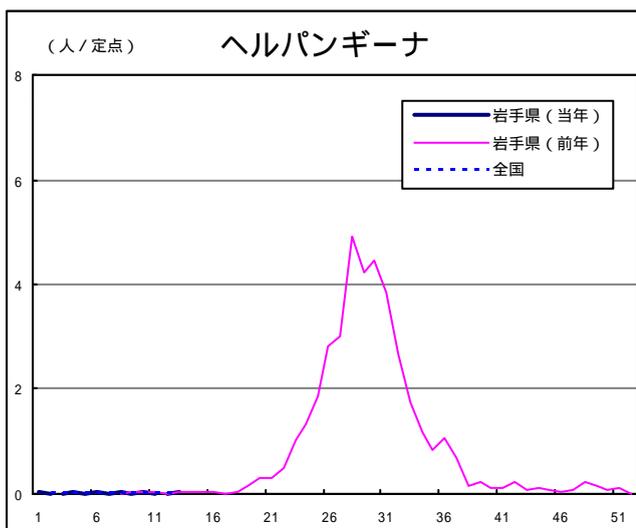
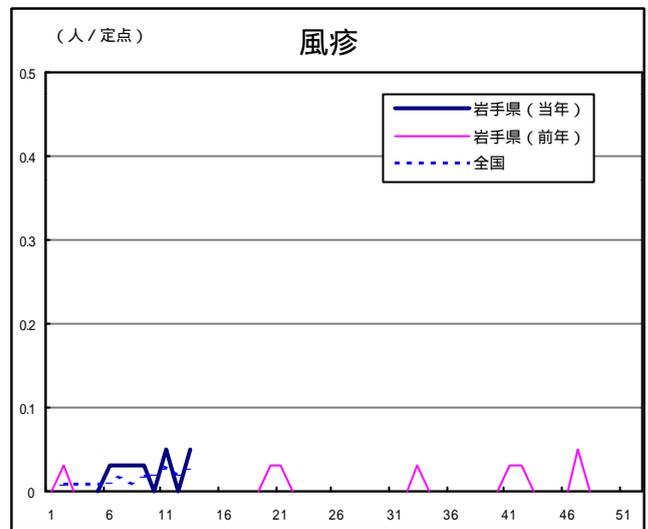
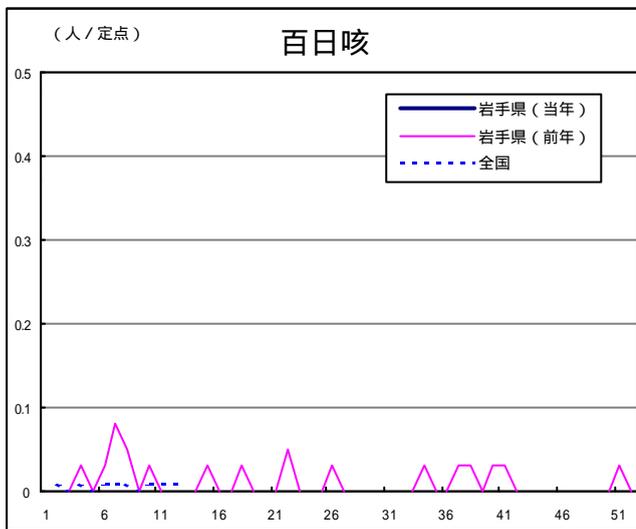
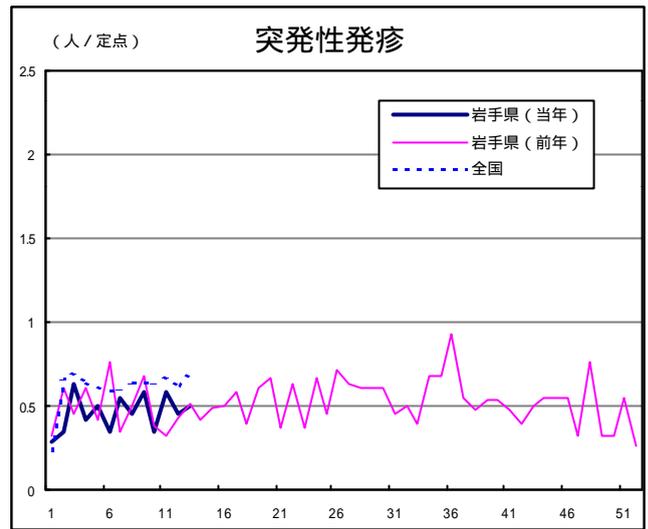
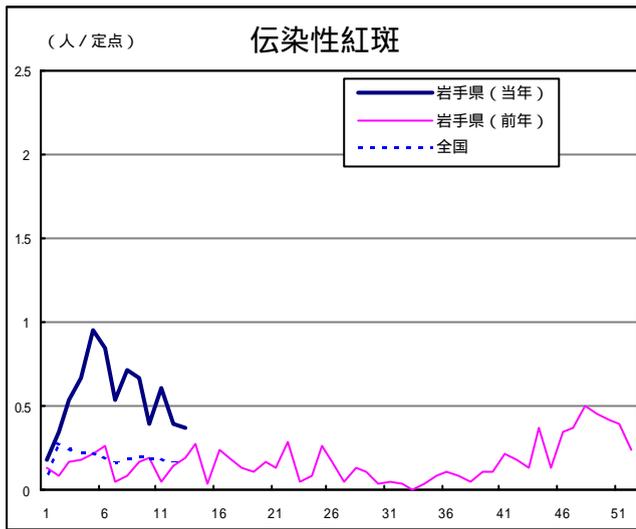
Q & A

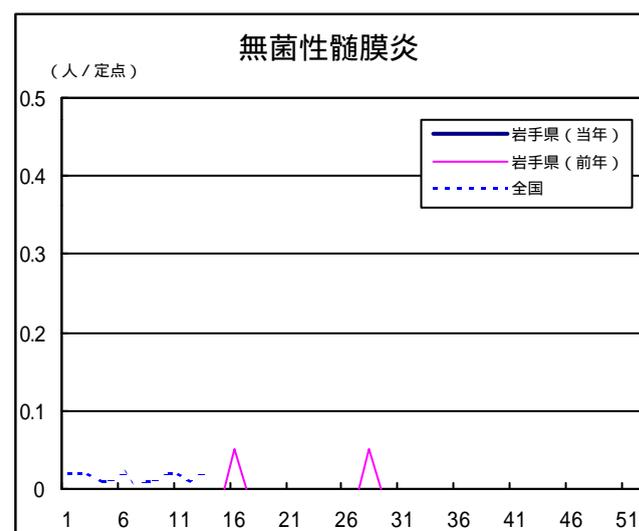
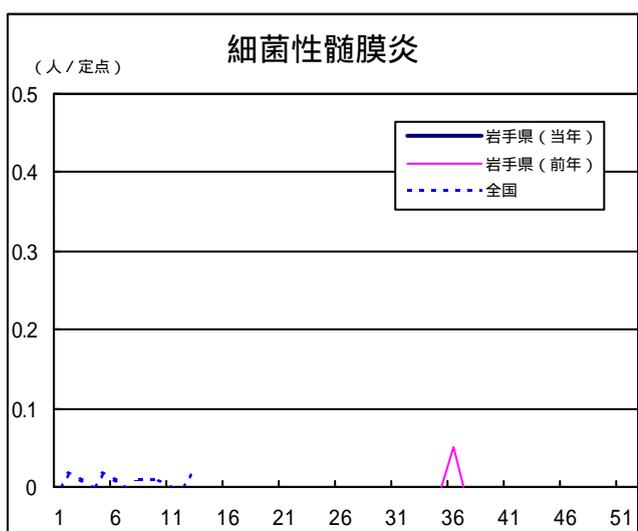
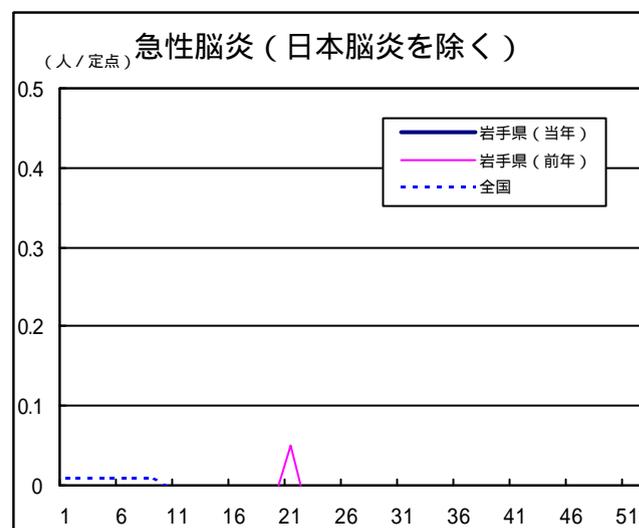
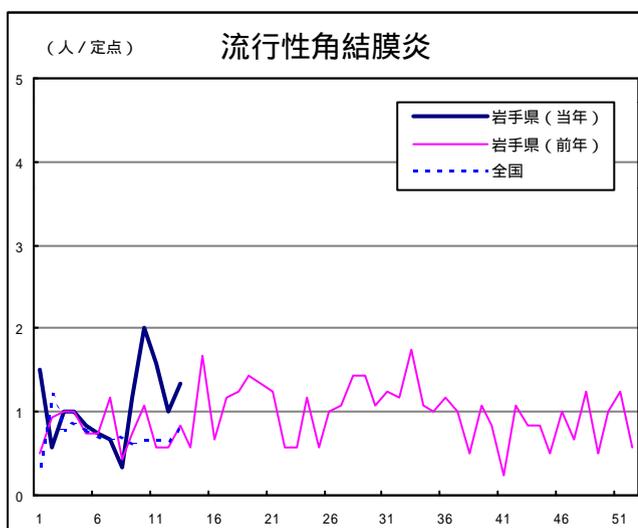
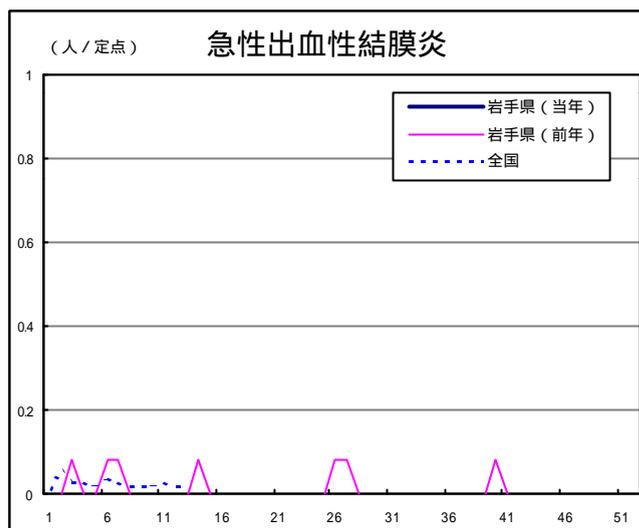
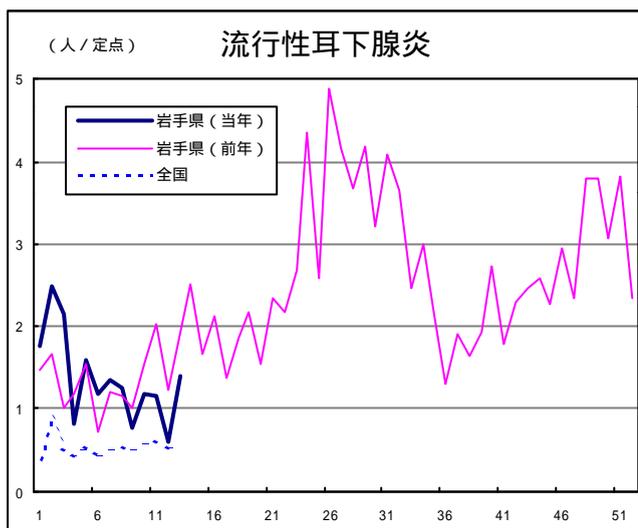
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

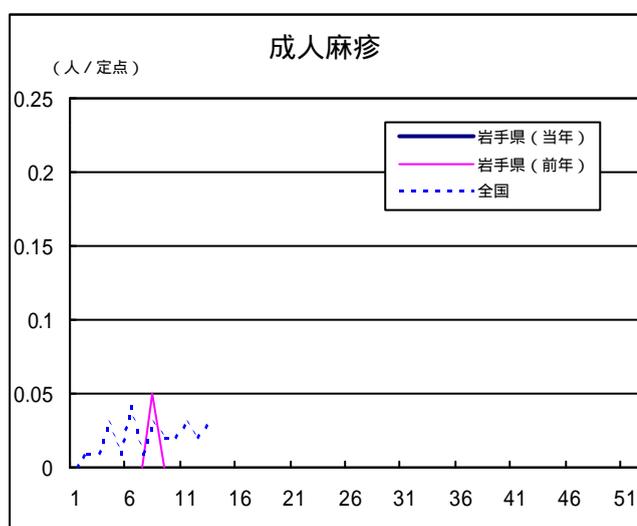
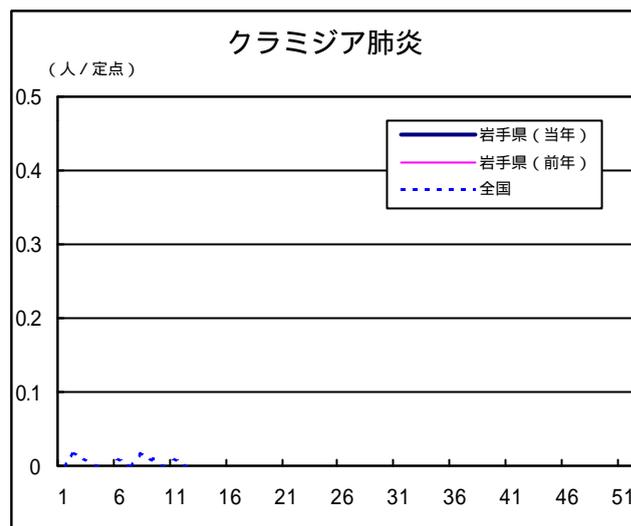
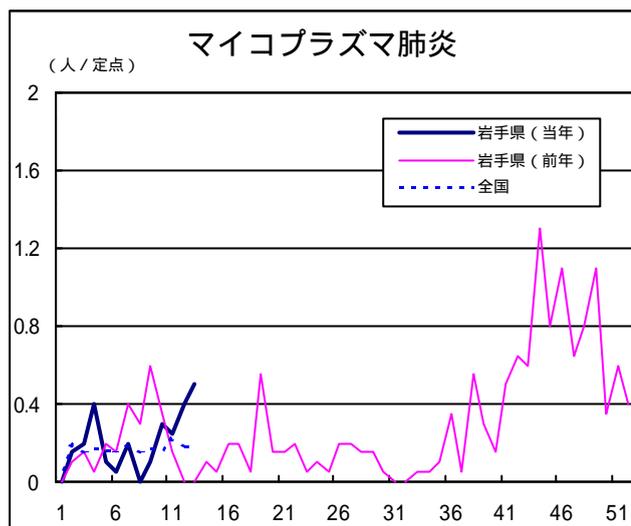
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」の配信を始めました。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成15年第13週 平成15年4月4日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667
 E-mail:CC0019@pref.iwate.jp
 URL : <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>